

科目名称	照明デザイン			授業コード	10031410
担当教員	相澤 孝司				
単位数	2.0	授業形態	講義	科目分類	選択
年次	2	開講年度	2019	開講学期	前期
関連資格					
履修制限等	「その他」参照				
到達目標(目的含む)	照明デザインを実践する知識として、照度・色温度・演色性・輝度などの用語を設計過程で適宜使うことができる。さらにインテリアデザイン、環境・建築デザインなどの空間系のデザインと照明デザインを総合的に設計できるようになる。プロダクトデザイン・クラフトデザインなどのモノ系のデザインでは、素材・構造・仕上げなどに必要な知識をも習得する。				
授業の概要	本講義では照明デザインに必要な基礎知識として、照明と光・生理・用語・光源について解説する。つづいて、照明器具と照明手法及び照明の歴史を学習する。照明デザインの事例として住宅・施設・環境と空間別に解説し、さらに心理・イベントなど行為と照明との関係にも踏み込んでいく。照明メーカーのデザイン部門で業務していた経験を活かし、照明デザインの基本的な知識と手法等、近年の施工例を解説しながら、具体的に講義する。				
授業計画	1:オリエンテーション 2:照明の基礎1 照明と光・生理について 3:照明の基礎2 照明用語の解説 4:照明の基礎3 照明の光源について 5:照明の基礎についての理解度を確認する 6:照明器具と照明手法 器具と方法の名称と世界の照明器具について 7:照明の歴史 炎の灯りから電気による照明そしてLEDについて 8:住宅照明 身近な住宅を照明から解説(自室の照明調査レポート) 9:施設照明 公共空間から商業空間まで実際の現場空間を紹介 10:環境照明 神戸の三宮周辺地区の夜景を解説 11:照度計算 光束法の計算方法とは 12:照明空間とイメージ 照明と心理の関係について 13:照明と社会 照明イベントの紹介と光害について 14:イサム・ノグチと照明 アーティストの視点で考えてみる 15:まとめ 照明の基礎を理解し、到達目標を確認する				
授業時間外学習	都市空間・建築空間・インテリアなどの空間で実際に照明を中心によく観察する習慣をつけておくこと。また、図書館で照明に関する書籍、建築・インテリア雑誌などで照明デザインの特徴を発見しておくこと。				
評価方法	レポート・課題提出40%、小テスト・基礎理解度テスト60% 総合的に評価				
課題・試験に対するフィードバックの方法	自室の調査では、調査内容を分析して最終の授業で発表する。				
使用テキスト	オリジナルテキスト(レジュメ配布)				
参考テキスト・URL					
各自準備物	一般的な筆記具				
実習費					
その他	6101教室の定員(108名)を超える場合は、プロダクト、環境の学生を優先し、他学科は抽選等の対応をする。				